

医療安全委員会だより

第1回 医療安全実践報告会を 開催しました



開催日 2016年1月22日(金) 9:30～16:30

メインテーマ 地域における医療安全活動の実践 ～成功体験を共有しよう～

この企画は日本医療機能評価機構認定病院患者安全推進協議会共催研修として実施しました。105名の参加があり、座長を日本医療機能評価機構の橋本廸生先生にお願いしました。

午前中の実践報告では7演題の発表があり、患者参画、転倒転落、薬剤管理、地域での医療安全管理者ネットワーク・管理者ネットワークなどの、貴重な成功体験を共有することができました。午後の基調講演では「レジリエンス・エンジニアリングの医療安全への応用～日常業務の複雑性を理解しうまくいくことを増やす～」のテーマで大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部部長・病院教授の中島和江先生にご講演をお願いしました。参加者のアンケートより「安全スタイルの変化を学べたので、現状を把握して組織的な取り組みで改善を図りたい」とありました。交流会では「実践につながるヒントを得た」「視野が広がった」「同じ目的や役割を持つ仲間との交流は、新しい発見やモチベーションの向上に繋がった」などの感想も聞かれました。サブテーマである「成功体験の共有」ができて有意義な研修となりました。

担当：藤田真理子



実践報告で
ヒントをもらいました



講演会で新しい知識を
得ました



交流会でパワーを
もらいました

日本医療機能評価機構 橋本廸生先生からのコメント……………

六甲おろしがあったかどうかは定かではありませんが、1月の寒い日、医療安全実践報告会に参加させていただきました。評価機構も共催させていただき、全国の病院の医療安全に関わる医療職に声をかけさせていただきました。

これからの地域での医療供給体制のありようを考えると、「医療安全の地域化」の促進が必須です。今回の活動を継続すれば、全国をリードするモデルになりうると考えています。所属機関や職種を超えた実践や議論を今後も深めていきましょう。